



2022-23年度RIテーマ
イマジン・ロータリー
国際ロータリー 第2780地区



寒川ロータリークラブ

事務所: 〒253-0106 神奈川県高座郡寒川町宮山7番地 サンワビル2F
TEL 0467(73)0046 FAX 0467(74)0027
例会場: 寒川神社参集殿 例会日: 月曜日 18:30
会長 石腰 亮 幹事 小澤千明

会報委員(クラブ管理運営委員会)

島村盛晶 山本和好 石丸博久 大澤 剛 小澤千明
菊地良夫 鈴木郁男 茂内 勝 二見 茂

第2245回例会 2023年4月24日(月) 曇り

司会 山本和好副幹事

斉唱 我らの生業

ソングリーダー 菊地クラブ管理運営委員

メイクアップ【本日も】 島村会員(台北士林RC創立47周年)、若菜会員(理事会)、三澤会員(地区研修協議会)
中村靖会員(地区研修協議会)

会長の時間 石腰会長

皆さん、こんばんは。今日もよろしくお願いたします。昨日は、国際ロータリー第2780地区2023年地区研修・協議会が平塚の東海大学にて行われました。会長エレクト始め、次年度役員、そして新会員の皆様、お疲れ様でございました。また、当会から地区に出向の皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。次年度への意識を高めモチベーションを上げていく機会になったことと思います。研修会での20分程度の講演は、元RI理事小沢一彦様が「地区研修・協議会の意義」と題してお話くださいました。小沢様はロータリー歴45年だそうです。永年の豊富なロータリーの経験を良く記憶されていて、本当に感心して聞きました。私は昨日食べた夕食のメニューも思い出せないで困っていますのに。小沢様はまず、この会は地区内で最も大事な会議と考え、地区大会にも劣らぬ盛会な会が開催された事を嬉しく思っていると言われました。そして、今気になっていることは、日本のロータリーの会員が減少していること。世界的には最高時130万人が現在は約120万人に会員減少している。中でも、特にアメリカや日本は大変な割合で減少していて、日本は最高13万人が現在8万4千で3分の1も減少している。地区会員は30年前、3500人で現在は近々増えてきてはいるものの2300人となっている。やはり3割強減少している。例えば60人のクラブが20クラブ無くなったことになる。

自然と大きくなった地区の組織や現状の運営保持は大変となり、最悪は分担金も増額の検討を迫られる事が予想される。それぞれのクラブの為に地区があり、国際ロータリーがあるわけです。でなければいけないのです。これからは、世界中のクラブが各々、より地域に力強く根が張れる活動を展開する事が大切です。そういう時代が来ていると思いませんか?より自由で活発なクラブを目指して下さい。と話されました。これが主な講演の抜粋です。参考にして下さい。今日の例会の後半は、地区研修・協議会の報告です。よろしくお願いたします。

幹事報告 小澤幹事

例会変更

なし

週報受理

なし

その他受理

●ガバナー事務所

～「RYLA(青少年指導者養成プログラム)研修会」開催
案内 {6/3(土)-4(日)} 於: 国民生活センター テーマ: 未来を作る青年の役割 対象者: 20～30歳くらいまで 4(日)は第5グループIMに参加 参加費: 2,000円}

●ボーイスカウト寒川第2団

～発団50周年記念式典開催案内 {6/4(日)10:30～} 於:

出席報告

会員数	出席計算会員数	出席会員数	暫定出席率	確定出席率
35名	34名	32名	94.12%	第2242回91.18%
本日欠席者	椎野会員、内野会員			

参集殿 4F「富士」 感染症の現状を踏まえ祝賀会はナシ(お弁当持ち帰り) (石腰会長出席予定)

●寒川町観光協会

～寒川写真コンクール終了のお知らせ (昨年度第 32 回をもって終了)

回 覧

なし

委員会報告・地区および地域出向者報告

50周年姉妹クラブ・親睦部会 中村部会長

寒河江 RC・士林 RC の出席者が決まり、いよいよ創立 50 周年記念式典まで 1 か月を切りました。今日例会後に 1 階ロビーで姉妹クラブ・親睦部会を行います。よろしくお願いたします。士林 RC の皆さんが来日される 5 月 17 日、羽田空港へのお迎えに行ってください方を募ります。歓迎の横断幕がとても大きいので最低 6 名で、今回士林に行った方もお迎えに行ってください方はよろしくお願いたします。羽田 13:10 着になります。

同好会報告

なし

2245回スマイルボックス 茂内クラブ管理運営委員

合計 28,000 円

◎石腰会長・小澤幹事

昨日は地区研修協議会に参加していただいた方々、お疲れ様でした。本日はその報告会です。村松会長エレクト、よろしくお願いたします。

◎高波会員

先程 15:30 過ぎにカナダ留学中の娘が無事成田に着いたと連絡がありました。今夜、娘からお土産でもらうことになっているカナディアンウィスキーが今から楽しみです。

◎青木、秋本、石塚、石丸、磯川、井上(晋)、井上(稔)、大澤、金子、菊地、茂内、清水、下里、鈴木(郁)、鈴木(正)、中野、中村(光)、二見、三留、村松、森嶋、山本(和)、山本(哲)、各会員

2023年地区・研修協議会報告

村松会長エレクト

昨日、2023 年地区研修・協議会に参加してまいりました。10:30 に金子建材さんの駐車場に集合し、9 名で車 2 台に分乗し出発、会場到着後にお弁当を食べ、12 時点鐘で全体会議Ⅰが開会となりました。この中で先ほど石腰会長も言われていましたが小沢 PG のお話がありました。そこでは「地区が大きくなりすぎて頭でっかちになっている。クラブが一番大事なのだから地区はもう少し小さくしなさい」と言われていたのが印象



残りしました。そのあとは部門別に分かれ分科会が行われました。後ほど出席された皆さんに報告を發表していただきます。そのあと行われた全体会議Ⅱでは表彰があり、当クラブは 3 つあるうちの 2 つの表彰を受けました。「100%ロータリー財団寄付クラブ認証バナー」と「End Polio Now の感謝状」です。表彰が受けられなかったのは「Every Rotarian, Every Year クラブ：1 ロータリー年度の会員一人あたりの年次基金への平均寄付額が 100 ドル以上であり、正会員全員が年次基金に少なくとも 25 ドル以上を寄付したクラブ」表彰でした。是非次年度は全会員が年次寄付 100 ドル以上を達成し、また石腰さんに登壇していただきましょう。

会長部門 村松会長エレクト

ほとんど PETS の内容と同じでしたので、ここでの報告は割愛させていただきます。

幹事部門 山本和好会員

講師は今年度・次年度それぞれの地区幹事の皆さん、地区研修委員、次年度第 2 グループ AG の横山さん(鎌倉 RC)でした。皆さんクラブでの幹事経験者で、その時の経験談を話してくださいました。皆さんが口々に言われていたのは「幹事という職は大変だよ」「もしかすると会長より大変かも…」ということでした。私が感じたのは「会長の考えを理解し、パイプ役となってクラブの委員さんや会員の方に伝えること」が幹事の役目であり、それが「クラブ運営に大切なこと」だということです。また、新会員さんが入会されたら全会員でサポートするのはもちろんですが、幹事が率先して新会員さんに寄り添い、声掛けをして「ロータリーは楽しい」ということを伝えてくださいという話もありました。また、マイロータリーについては「積極的に登録を進めてください」、クラブ定款・細則については「読んでよく頭に入れてください」とのことでした。来月 13 日に幹事研修がありますので、次年度に向けてさらに勉強してきたいと思います。



公共イメージ部門 中野会員

リーダーの杉岡 PG より、公共イメージ・広報部門の目的としては、○ロータリーの認知度を上げる ○ロータリーの公共イメージを向上させる クラブによっては公共イメージ委員会があるところもあるそうです。世界的なロータリーの認知度を見ると、台湾が 90% とトップで、そのあとインド、ブラジル、韓国、アメリカ、ドイツと続いて日本のロータリーの認知度は 30% ということです。まだまだ頑張らなければなりません。そこで、4 つの戦略的優先事項として、1. より大きなインパクトをもたらす(持続可能な事業) 2. 参加者の基盤を広



げる 3. 参加者の積極的なかわりを促す 4. 適応力を高める 続いて松下委員（ふじさわ湘南 RC）より、「クラブ公共イメージ委員会の役割」についてお話をしました。先ほど日本でのロータリーの認知度 30% とありましたが、一般の方々に街角インタビューみたいな事でロータリーのマークの認知度を調べた結果、さらに低く 19.8% だったということです。その中にはロータリーの会員もいれば家族がロータリアンという人もいたので、それ以上に認知度は低いということです。その他結果から、「若い世代の方が知らない」「女性の方が知らない」というような数字が出ているとのことでした。その現状を知ったうえで認知度を上げていく必要がある ○大川久弥委員（小田原 RC）より、外部に発信（SNS: ソーシャルネットワークサービス）国内では LINE が年齢層も幅広くアクティブユーザーも多いらしいですが世界を見ると Face Book が一番らしいです。若者オンリーで考えると家族、会社での連絡は LINE、Face Book を使うけれど、仲間同士はインスタグラム、Tik Tok に移行している感じで、幅広い年齢層を狙っての SNS 発信はいろいろな形をとっていかなくてはならないのかなという感じです。あくまでもそこまではコマーシャル的なもので、そこから YouTube に飛ばすことが必要ようです。（いわゆる最近よく耳にするユーチューバー）クラブによっては、RC 野球大会の様子をアップしたり、三浦 RC では支援学級の芋ほりをアップしたりしているとのことでした。

会員増強部門 金子副会長

本来であれば会員増強委員長が出席する部門ではありますが、今回出席して三澤さんに一言言いたいと思って帰ってきました。前年度は三澤さんが地区会員増強委員長をされ、今年度は岩澤さんが委員長をされました。三澤さんは今年度地区研修委員としていろいろな話をご存じだと思います。是非、クラブにその貴重な話を還元していただきたいと思いました。卓話も積極的に地区を利用するべきだと思います。コロナ禍にあって 2780 地区は 300 名近く会員数減となったそうです。ただ今年度は、コロナ禍からの回復もあったとは思いますが各クラブの頑張りで 126 名増となっているということです。女性会員の増強も各クラブ 20% くらいに引き上げられたらいいですね、というお話でした。それには「どうやって新しい方を迎えるか」。今年度の地区増強委員会では各クラブの情報を事前に収集し、それに合った増強の卓話をしてくれるそうです。外から見た寒川について見たり聞いたりする機会を持つことは新たな気付きを与えてくれると思います。また、入会申込書やクラブのパンフレットをいろいろなイベントで事あるごとに配ることで、幅広くロータリーを知ってもらうのも大切ということでした。「幸せの黄色い封筒」を作って配ることで、20 名ほどだったのが今は 50 名近くにまでなり会員増強に成功したクラブもあるそうです。ロー



タリーを知ってもらわないと入会には繋がらないということ。今年度地区会員増強委員会では「新会員's Voice」という形で、50 名近くの新会員にインタビューを行い発信しています。当クラブの茂内会員もインタビューを受けましたよね。あの時は「みんなで見ているね!しよう」と Line が回ったりしましたが、他の新会員さんのインタビューを聞いてみるのも勉強になると思います。そして増強と共に大切なのが「維持」。退会者をなくすことがこれから各クラブで問題になってくるだろうとのことでした。増強は皆さん一人一人が積極的に進めていくことで一人でも多くの方を増やしていけたらいいなと思いますので、次年度も増強頑張りましょう。

職業奉仕部門 石腰会長

職業奉仕部門研修会は、PG の秦野 RC 佐野英之様をリーダーに 5 人のサブリーダーのもと進行されました。当クラブの島村会員もサブリーダーとして参加、丁寧に説明案内してくださっていました。職業奉仕はロータリーの最優先部門です。最初に佐野リーダーより職業奉仕についての解説がありました。次に事例発表があり、相模原南 RC の中村様より相模女子大・高等部で出前授業を行っている説明がありました。会員の職業である製造業、販売業、サービス業等の業種毎に講座を担当し、学生は希望の講座を選択して授業を受けるという活動の事例でした。次のグループディスカッションでは、たまたま私たちのグループの担当に島村会員がつかれました。テーマは「どんな職業奉仕を次年度行っていくか」についてでしたが、各人がそれぞれに自クラブの活動状況を話すことが中心でした。事例発表と各メンバーの話聞いて思ったことは、近年、学校では職場訪問する授業が設けられています。寒川神社にも来られていますが、企業を訪問し、企業をより理解し、将来やりがいのある職業を探し、就職の選択の幅を広げる目的で行われていると思います。ロータリーメンバーは異業種の方々の集まりです。私たちも多くの機会を通じて職業奉仕について上手く伝えて、未来の子どもたちが充実した社会生活、社会貢献ができる支援活動を活発にしていかなければと思いました。



社会・国際奉仕部門 茂内会員

私は今回で地区研修・協議会に参加させていただくのは 2 回目となります。2 回目の参加となり、ロータリーの用語が理解できるようになり、全体会議での式典の意味が分かるようになりました。どの立場の人が、どの立場の人を紹介していて、どのような意味を持つのか、わかるようになりました。よって、地区ロータリーがどの様な役があって、どの



ように運営されているかが、より理解できるようになりました。その後、分科会に参加をいたしました。分科会は冒頭、昨年度のガバナー、田島透さんが社会奉仕・国際奉仕のプロジェクト計画の仕方、何に優先順位をつけて計画をした方が良いか等、アドバイスがありました。次に各クラブがどのような社会奉仕・国際奉仕をしているのか紹介がありました。茅ヶ崎中央 RC はウクライナの避難民の受け入れについて、厚木県央 RC はラオスへの農業支援のお話しをしていただきました。最後に地域リソースネットワークという新しいシステムを創設したという話がありました。これは、各クラブの有能な人材をネットワーク化して、地区で共有することで、様々な場面や催しで、色々な技術・能力・才能を活用できるようにと言う趣旨で創設されたそうです。地区のホームページにリンクが張ってあります。

ローターアクト部門 下里会員

久保田 PG リーダーを中心にロータリアン 10 名、ローターアクター 7 名が参加され、次年度委員長の當間さんが進行し「ロータリーから見たローターアクト、ローターアクトから見たロータリー」という内容で意見を交換しました。今年度よりローターアクトが一つの組織として財団の寄付もするようになり、年齢制限もなくなりました。次年度委員の中で逗子 RA、伊勢原 RA が新たにローターアクトクラブを設立することを宣言し、みんなで協力することを誓いました。

研修部門 小澤幹事

講師は田中賢三 PG、地区研修委員の中谷さん・露木さんが務められました。田中 PG はクラブ研修リーダーの在り方というテーマで話され、「リーダーはとにかく元気なクラブにすることを考え、そのために定款は変えることはできないが細則は変えることができるので、時代に合った細則に変えていくことも必要」とおっしゃっていました。クラブの将来を視野に入れて、何を守って何を変えていく必要があるのかを話し合う、そんな場も作ってくださいとのことでした。また、次世代のクラブリーダーを育てることも重要な役割だとも言われておりました。マイロータリーをしっかりと読み解いてくださいという宿題も出されました。中谷委員は RI 会長方針及びガバナー方針をしっかりと読み込んで理解を深めてくださいというお話をされました。露木委員はロータリーの本質とはというお話をされ、その中で「4つのテスト」が元は会社の倫理規定であったということに今更ですがビックリしました。田中 PG の一句「ロータリー 一人一人が 広告塔 これは公共イメージの向上につながりますの

でしっかり勉強してください」ということで結びとなりました。

新会員部門 中村靖会員(代読:村松会長エレクト)

①ロータリーの基本は所属するクラブが基本である事を再認識しました。②ロータリークラブは楽しくないといけない事。楽しくなければ長く会員として活動する事は難しいのでクラブの中で楽しみや楽しさを見出だして行く事が重要であると感じました。③多様性を重視する事。1000人のロータリアンが入れば1000通りのロータリー活動が有って良いとの事。自分なりのロータリー活動を見出だしクラブの中でその役割や自分の存在意義を考えながら寒川ロータリークラブの一員として社会奉仕に貢献したいとの思いを改めて感じました。

村松会長エレクト

今日発表をしていただいた皆さん、想像以上に熱くまじめに報告していただきました。本当にありがとうございました。ロータリーの大きな大会は「地区大会」とこの「地区研修・協議会」の2つがありますが、皆さん、特にロータリー歴の浅い皆さんはできるだけ出席していただければと思います。何か違った意味での気づきや新しいことに巡り合えるチャンスです。是非そのチャンスを逃さないでいただきたいと思います。

地区出向者の報告

会員増強部門サブリーダー:地区研修委員会 三澤委員

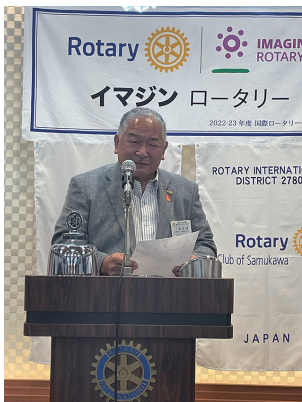
会員増強部門の分科会のサブリーダーで司会を担当しました。岩澤今年度地区増強委員長の2日前の全国クラブ活性化セミナーでの成果の発表が良く、各クラブ増強委員長としての参加者の意欲を高めました。2780地区の増強人数は124名と過去最高になっています。新会員が退会されないようにとの「新会員's Voice」も人気があり、今年度中に寒川の3新会員(石丸会員・眞原会員・中村靖会員)についても是非出演させていただけるように頼みましたので、その節は皆さんも視聴していただき「いいね!」をたくさんお願いします。

職業奉仕部門サブリーダー:地区職業奉仕委員会 島村委員

今回の地区研修協議会は、初めて主催者側として参加をいたしました。私が担当したのは、クラブ職業奉仕委員長の皆様への研修でした。リーダーの佐野 PG、地区職業奉仕委員会生駒委員長のリードのもと、職業奉仕の基礎、そしてディスカッションにおいては、各クラブの職業奉仕委員会で行われている活動や、1年間委員長としてどのように取り組むかについて活発に討議が行われました。私も地区職業奉仕委員会への出向は、次年度で3年目となります。副委員長を仰せ付け、集大成の1年間にしたいと思います。地区へ出向し学びと出会いの場をいただけている事、本当にありがたく思っております。

現・森嶋地区副幹事

今年度地区副幹事として米山奨学を担当していることもあり米山奨学部門に参加してまいりました。特に印象に残った事は、米山奨学生のカウンセラーさんからの経験談でした。奨学生にとって「日本のお父さん・お母さん



」といった存在でとても感謝されたそうです。大学の卒業式にも参加して欲しかったとまで言われ、感極まる思いだったとの事。卒業後も、母国に帰国されても、更に交流を持っているとの事で微笑ましいお話しでした。ところで、この4月から寒川でお世話することになった米山奨学生の張付新君とは面接日からのご縁でした。張君は最終グループの1番最後の方という事で、待ち時間が約3時間、面接時間は10分間。当日は長時間に渡り緊張の連続だったと思います。面接終了時には最後の方たちを会場の外までお見送りさせていただきました。その中で張君と少し会話した記憶があり、文教大学、そして最寄り駅が辻堂という事、真面目そうで礼儀正しく1番印象に残っていた学生さんでした。そのご縁もあって自クラブがスポンサークラブ、そしてカウンセラーが島村さんの事で大変嬉しく思いました。張君にも「寒川IRCがスポンサークラブで良かった!最高!」と言っていたにメンバーの1人としてもお手伝いできたらと思わされた分科会でした。



2023年4月23日(日)地区研修・協議会出席

